

10 危険物類

【関連章第4章2】

事例2 「オイルが染み込んだタオルの乾燥後の余熱により出火した火災」

出火時分	6月 2時頃
用途等	複合用途（飲食店・事務所等） 耐火造 6/1 延 500 m ²
防火管理	該当選任あり 消防計画あり
被害状況	建物ぼや1棟 タオル40枚、洗濯かご2個等焼損

概要

この火災は、複合用途建物の2階店舗（エステ店）から出火したものです。

出火原因は、従業員が店舗で使用したオイルの染み込んだタオルを洗濯、乾燥させた後、余熱がある状態で洗濯かごに詰めたまま放置したため、オイルの成分である不飽和脂肪酸が酸化発熱し、出火したものです。

建物の居住者は、自動火災報知設備が鳴動したことから受信盤を確認し、1、2階を表示していたことから、2階を確認すると、2階店舗のガラス戸から煙が出ているのを発見したため、自宅の固定電話から119番通報しています。

教訓等

アロマオイル等に含まれる不飽和脂肪酸は、空気中の酸素に触れて酸化することで発熱します。乾燥後の衣類などを乾燥機の中にそのまま放置する、若しくは取り出した後、山積みにして置いておくと、熱が外部に逃げにくく、そのまま放置することで、蓄熱し出火する危険性があります。

オイル等の種類にもよりますが、出火に至るまでには数時間かかることがあり、乾燥機で乾燥させた後の高温の状態では、出火するまでの時間はより短くなります。

乾燥機の使用後は、乾燥機の中にそのまま放置せずすぐに取り出し、取り出した衣類などは山積みには放置しないようにしましょう。また、乾燥機を使用せずに自然乾燥させるなどの対策を行いましょう。



写真 10-3 出火箇所付近の状況



写真 10-4 焼損したタオルの状況